

システム管理基準への意見提出結果と考察

2018年10月2日更新

整理番号	指摘の趣旨	採否	指摘に対する回答	回答に対する考察
1	全文の13行目 第2に、「・・・、これまで以上にITガバナンスの実現に貢献すること。」第2に、「・・・、これまで以上にITガバナンスと情報セキュリティガバナンスの実現に貢献すること。」に改訂する。また、「情報セキュリティガバナンス導入ガイダンス」に記述されている、「コーポレートガバナンス、ITガバナンス、情報セキュリティガバナンスの関係図」を挿入すること。	×	ITガバナンスがその中心となることから、情報セキュリティガバナンスの概念について否定するものではありませんが、管理基準の中には盛り込まない	システム監査と情報セキュリティ監査のすみ分けをしているように思えて仕方ない。システム監査は、情報セキュリティの確保にも関連する。また、情報セキュリティガバナンスが「情報セキュリティ管理基準」の関係性で記述することの必要性ない。もちろん、情報セキュリティ管理基準にITガバナンスの項目が記述されることもある。追記部分は、システム監査と情報セキュリティ監査の共通部分である。管理基準には盛り込まないということは、やはり問題といえる。情報セキュリティ監査との棲み分け意識しているようである。

システム管理基準への意見提出結果と考察

2018年10月2日更新

整理番号	指摘の趣旨	採否	指摘に対する回答	回答に対する考察
10	<p>II企画フェーズ2とV運用・利用フェーズ2 [指摘] 日々学習を続けて挙動が日々成長する人工知能（自動学習システム）の要件をどのように定義し、運用時に人工知能システムの信頼性、安全性、効率性、有効性をどの様に把握してゆくべきか言及して欲しい。</p> <p>[理由] 既に先端的な分野の一つとして人工知能と呼ばれる分野があり、情報システムが自分で学習し、自分の挙動を日々更新し成長してゆく分野が形成されている。従来要件定義では、どのような入力に対して、どのように処理をして、どのような出力をするかを定義すれば良かったが、人工知能の分野では同じ入力に対してどのような出力をするかは日々変化し、なぜそのような出力をしたのかを人間には分からないのが現状である。人工知能は夢物語ではなく、既に実用化が始まろうとしている。システム監査人がこのような人工知能のシステム監査を行う場合、要件定義がどのようにされているべきか、システムの信頼</p>	△	<p>今回の改訂における検討においては、人工知能の利用について今後の検討とさせていただきます。いただいた御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>	

システム管理基準への意見提出結果と考察

2018年10月2日更新

整理番号	指摘の趣旨	採否	指摘に対する回答	回答に対する考察
13	「(1) プロジェクト運営委員会はシステムにかかる調達方法を明確にするように情報システム部門に指示すること」の部分を「プロジェクト運営 委員会はシステムにかかる調達方法を明確にするようにPMに指示すること」に変更する。	○	御指摘を踏まえて対応いたします。	
14	(1)と(2)を逆にし、前の(2)の文章に「CIOは」の後に「事前に」を追加する。または(2)の部分をITガバナンスの3. 情報システム部門の役割と体制のところに移動する。	○	御指摘を踏まえて対応いたします。	
16	開発フェーズ1.開発ルールの管理の(3)に、「外部委託を行う場合、外部サービス管理の項に準ずること」を明記する	○	御指摘を踏まえて、外部サービス管理に準ずることを記載いたします。なお、新たな項を追加するのではなく、プロジェクト標準の内容として含めることが適当であるため、変更後の(2)の着眼点に記載することを記載いたします。	
24	アジャイル開発は、開発手法であり、開発フェーズの中に記述する。開発フェーズと同格のレベルではないまた、開発フェーズに「開発基本」「ウォーターフォール開発」を記述する。アジャイル開発と反復開発とは異なる手法である。	×	「IVアジャイル開発」の冒頭に説明記載させていただきます。構成については、これまでウォーターフォール型開発を前提にしてきたことを踏まえて、原案のとおりとさせていただきます。いただいた御意見については今後の参考とさせていただきます	改訂提案が理解されていないように思える。何故、アジャイル開発は開発フェーズの中に入れるべきで、同一レベルが章立てになることが理解できない。引き続き改訂の重要性を指摘していきたい。

システム管理基準への意見提出結果と考察

2018年10月2日更新

整理番号	指摘の趣旨	採否	指摘に対する回答	回答に対する考察
27	VI保守フェーズ6（1） [指摘] ソフトウェア構成管理に、システムの信頼性・保守性を高めるだけでなく、「不要な経費削減」のためという目的も記述すべきである。 [理由] 規模の大きな組織においては、利用部門が既に利用しなくなっているソフトウェアの使用料・保守料を支払い続けているケースが多々あり、この見直しをする事で多額の経費削減ができた事例が多数存在する。	○	御指摘を踏まえて主旨に「効率性」を追加いたします。	それでは意図が伝わらないと懸念される
29	事業継続と業務継続の用語が混在しており、使い分けするのであれば、定義をしてから説明をすること。	○	事業継続計画は経営陣が定めるものと、情報システムの業務継続計画は事業継続計画に基づき情報システム部門長が定めるものとの整理を明確にいたしました。	
30	VIII事業継続管理1（2）1（3）2（1）～（4） [指摘] 「情報システム部門長は、・・・」主語を「CIO」にするべき [理由] 現状の表現は、情報システム部門長の責務・権限を遥かに越えた内容を求めており、CIOが主語として相応しい。	×	事業継続計画は経営陣が定めるものと、情報システムの業務継続計画は事業継続計画に基づき情報システム部門長が定めるものとの整理から、原案のとおりとさせていただきます。	事業継続計画は経営陣が定めて、情報システムの業務継続計画は 事業継続計画に基づき情報システム部門長が定めるものという言葉の定義は一般的に認知されていないので、違和感がある。 また、この説明が事業継続管理の章の途中に出てくるため、読者を混乱させるので、章の先頭に記載すべき

システム管理基準への意見提出結果と考察

2018年10月2日更新

整理番号	指摘の趣旨	採否	指摘に対する回答	回答に対する考察
31	<p>VIII事業継続管理</p> <p>[指摘]</p> <p>用語の統一を図るべき。もしくは用語の定義を行うべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報システム部門長」とP.97 1行目 (3) 情報処理部門長 ・「事業継続」と「業務継続」 	○	<p>御指摘を踏まえて、事業継続計画は経営陣が定めるものと、</p> <p>情報システムの業務継続計画は事業継続計画に基づき情報システム部門長が定めるものとの整理を明確にいたしました。</p>	<同上>
35	<p>VIII事業継続管理</p> <p>[指摘]</p> <p>次の箇所に入力ミスと思われる部分がある。</p> <p>P.95 (4) ④ 文章の先頭に「事業継続」が欠落</p> <p>P.95 (5) ① 文章の先頭に「業」が欠落</p> <p>P.98 (1) ④「疎外」は「阻害」が正しい</p> <p>文章の重複と思われる箇所があるP.99 (2) の②と④は、同じ内容と思われる</p>	○	御指摘を踏まえて対応いたします。	
37	<p>以下のように変更する。</p> <p>「ストレスチェック実施義務事業所において、管理者はすべての要員がストレスチェックを受検するよう勧奨する。」</p> <p>「実施義務事業者以外の事業所においても、できるだけ実施することが望ましい。」</p>	○	御指摘を踏まえて対応いたします。	

システム管理基準への意見提出結果と考察

2018年10月2日更新

整理番号	指摘の趣旨	採否	指摘に対する回答	回答に対する考察
41	章立てはC I Oを中心としたシステム全体の内容、PMを中心とした開発、運用管理者を中心とした運用、保守管理者を中心とした保守が分かる章立てにすべきである。	×	これまでのシステム管理基準の整理や情報セキュリティ管理基準との関係を踏まえて構成について整理を行っているところ、御指摘の内容を踏まえて構成を見直すと全体として整合を取ることが難しくなることから、原案のとおりとさせていただきます。御意見については今後の参考とさせていただきます。	現在のままだと、どのフェーズについて論じているのか不明確である。情報セキュリティ管理はI.I Tガバナンス、V.運用・利用フェーズ、VI.保守フェーズに分けて記述されている。それに対してVII.外部サービスはガバナンス、開発、運用と分けて書かれておらず、まとめて独立して記述されている。品質管理も同様である。
54	企画フェーズの前に、「2. 情報セキュリティガバナンス」を追記する。 1 ITガバナンス 1～7. 2. 情報セキュリティガバナンス 1. 情報セキュリティの評価・指示・モニタ 2. リスクマネジメントの評価・指示・モニタ 3. 事業継続管理の評価・指示・モニタ 4. 情報セキュリティ関連法の評価・指示・モニタ	×	システム管理基準は組織体の情報システムの管理について対象とするもので、ITガバナンスがその中心となることから、情報セキュリティガバナンスの概念について否定するものではありませんが、管理基準の中には盛り込まない整理とさせていただきます。いただいた御意見については今後の参考とさせていただきます。	前述の整理番号「1」においても記述しているが、システム監査の安全性に関連して、情報セキュリティの関連は重要である。システム監査と情報セキュリティ監査のすみ分けをしているように思えて仕方ない。